

平成 25 年度調査研究等計画書

事業名	赤潮等発生監視調査事業			
事業年度	平成53年～	事業費 財 源	308 千円 (-) 308 (国) (諸)	担当者 増養殖環境課 鈴木 怜
【背景・目的】 浦ノ内湾、野見湾等の養殖漁場では有害赤潮による漁業被害が発生しており、漁業経営の安定を阻害する要因となっている。また、貝毒原因プランクトンの増殖に起因する貝毒の蓄積が食品衛生上の看過できない問題となっている。 本事業では、赤潮や貝毒の発生が懸念される海域で有害・有毒プランクトンの発生監視調査を行い、関係諸機関と協力して赤潮、貝毒の被害を未然に防止する。				
【事業の概要】 赤潮や貝毒の発生が懸念される海域での有害・有毒プランクトンの発生を監視し、被害を未然に防止するための情報を関係諸機関に提供する。				
【全体計画とこれまでの成果】 浦ノ内湾、野見湾等において、有害・有毒プランクトンの出現状況等を定期的に把握し、関係諸機関に情報提供を行う。 これまでの成果 適宜調査を実施し、関係諸機関に必要な情報を提供することで、漁業被害の防止・軽減及び食中毒発生の防止に努めた。				
【25 年度計画】 ①有害プランクトンの発生監視 調査対象海域：浦ノ内湾・野見湾・浦戸湾・宿毛湾・その他の赤潮発生海域 調査頻度：月 1 回以上の海洋観測とプランクトン調査 情報提供：調査ごとに関係機関に実施 対象プランクトン：有害プランクトン及びその他赤潮構成種 ②有毒プランクトンの発生監視 調査対象海域：浦ノ内湾・野見湾・浦戸湾・宿毛湾・足摺港・竜串・その他貝毒原因種発生海域 調査頻度：月 1 回以上の海洋観測とプランクトン調査 情報提供：調査ごとに関係機関に実施 対象プランクトン：有毒プランクトン				
【成果目標】 有害プランクトンに関する情報を逐次関係者に提供して注意喚起を行い、漁業被害の防止・軽減に繋げていく。 有毒プランクトンに関する情報を逐次関係者と共有し、関係機関と協同して貝毒被害の防止に努める。				
【期待される効果】 赤潮による漁業被害の防止・軽減及び貝毒被害の防止				